

一般質問

令和2年第2回（6月）定例会

通告順	議席番号	議員名	質問方法	ページ
1	3番	砂川和也	複合式	2
2	15番	山中敏正	複合式	3
3	4番	岡野千枝子	複合式	4
4	14番	加藤ただし	複合式	5
5	7番	保坂輝雄	複合式	6
6	6番	岩崎隆志	複合式	8
7	1番	坂本敏治	複合式	9
8	2番	星野充生	複合式	10
9	9番	にいつま 亮	複合式	11
10	13番	浦田 充	複合式	12
11	5番	北村 あやこ	複合式	13
12	10番	新島 光明	複合式	14

※ 複合式とは、1回目の質問及び答弁はまとめて行うが、2回目以降は1項目ごとに一問一答で行う。質問時間は答弁も含め40分以内とする。
(質問回数の制限なし)

3番 砂川 和也 (複合式)

1. 川田谷地区を中心とした水害対策の状況について

- (1) 昨年の水害を受けて現在の水害対策の進捗状況について伺う。
 - ① 災害対策本部の対応状況について
 - ② 防災情報発信の対応状況について
 - ③ 川田谷地区の避難経路、避難場所等のタイムラインについて
- (2) いずみの学園の現在の状況と水害対策の準備について伺う。
- (3) 江川周辺の県道12号線を含む生活道路の通行止め対応策について伺う。
- (4) 江川調節池工事の進捗状況について伺う。
 - ① 桶川西中学校南側の市道3213号線の江川を渡る橋梁架け替え工事による迂回路の周知方法について
 - ② 工事期間と迂回路の利用期間について
 - ③ 迂回通学路の安全対策について

15番 山中 敏正 (複合式)

1. マイナンバーカードについて

- (1) 現在の普及率について、伺います。
- (2) 特別定額給付金のオンライン申請件数について、伺います。
- (3) 電子申請のぴったりサービスの利用状況について、伺います。
- (4) マイナンバーカードに関する相談状況について、伺います。
- (5) マイナポイントについて、伺います。

4番 岡野 千枝子 (複合式)

1. G I G Aスクール構想について

- (1) 国の示すG I G Aスクール構想について、概要を伺う。
- (2) 本市の学校教育における I C T化の現状を伺う。
- (3) 本市としてのG I G Aスクール構想を伺う。

2. キャッシュレス社会への対応について

国は「2025年までにキャッシュレス決済比率を40%超え」を目標としています。

- (1) 市内のキャッシュレスの状況を伺う。
- (2) 行政でのキャッシュレスの状況を伺う。
- (3) キャッシュレスを進めていく上での課題を伺う。

14番 加藤 ただし (複合式)

1. かかりつけ医 (マイドクター制度) について
 - (1) 健康診断の受診率と健康の関係について
 - (2) 今後の健康診断促進の取組について
 - (3) 医師会の役割と桶川市との連携について

7番 保坂 輝雄 (複合式)

1. 保育所及び放課後児童クラブの現状と今後の方向性について

(1) 保育所の現状について

- ① 今年度の申し込み受付終了時点での今年度の保育所別（公営及び民営）の年齢別定員数、申込数及び待機児童見込み人数をお伺いします。（資料配付）
- ② 本年4、5月の保育所別（公営及び民営）の実際の受け入れ人数と待機児童数をお伺いします。（資料配付）
- ③ 本年4、5月で保育所がどう変わったのか、現在の状況をお伺いします。あわせて、3密を避けるために、保育所としてどのような工夫を行っているか、お伺いします。

(2) 放課後児童クラブの現状について

- ① 今年度の申し込み受付終了時点での今年度の放課後児童クラブ別（民間も含む）の定員数、申込数及び待機児童見込み人数をお伺いします。（資料配付）
- ② 本年4、5月の放課後児童クラブ別（民間も含む）の実際の受け入れ人数と待機児童数をお伺いします。（資料配付）
- ③ 本年4、5月で放課後児童クラブがどう変わったのか、現在の状況をお伺いします。あわせて、3密を避けるために、放課後児童クラブとしてどのような工夫を行っているか、お伺いします。

(3) 現在の課題と今後の方向性について

- ① 保育所に関する現在の課題と今後の方向性について、お伺いします。
- ② 放課後児童クラブに関する現在の課題と今後の方向性と課題について、お伺いします。

2. 防災ラジオの導入について

(1) 防災ラジオとFM局開局について

- ① 防災ラジオの割り込み放送を行う場合、独自のFM局の開局が必要なのか、他市の事例に基づいてご説明ください。
- ② 桶川市として、独自のFM局を開局して防災ラジオの割り込み放送を実施する場合の費用と課題について、簡単にご説明ください。

(2) 防災ラジオ導入の助成について

- ① 防災ラジオ1台当たりのコストについて、お伺いします。

- ② 防災ラジオを導入する場合、どのような助成が考えられるのか、本市の見解をお伺いします。

3. 免許返納者に対する支援について

(1) 免許返納者の現状について

- ① 桶川市内の免許返納者の人数に関し、75歳以上と75歳未満に分けて、お伺いします。
- ② 免許返納者に対し、現在、桶川市としてどのような支援を行っているか、お伺いします。

(2) 免許返納者支援の今後の方向性について

- ① 本年夏より試験運行を開始する予定の市内循環バスにおいて、75歳未満の免許返納者に対し、どのような支援を行うのか、お伺いします。
- ② 免許返納者に対し、今後、どのような支援を行っていくのか、本市の見解をお伺いします。

6番 岩崎 隆志 (複合式)

1. 就職氷河期世代を救うことについて
 - (1) 就職氷河期世代への本市の見解について伺う。
 - (2) 就職氷河期世代への相談体制の現状と今後の方向性について伺う。
 - (3) 就職氷河期世代を対象とした本市職員募集の実施について伺う。

2. 病気の方を常に適切な医療につなぐことができるためのお手伝いについて
 - (1) 責任の根拠について伺う。
 - (2) 情報発信はどのようになっているか伺う。
 - (3) 相談体制について伺う。
 - (4) 情報不足等で相談につながらない方をどうやって相談につなげるのか伺う。
 - (5) 確実に適切な医療につなげる体制について伺う。

1 番 坂本 敏治 (複合式)

1. これからの市政運営について

(1) 新型コロナウイルスによる社会経済の変容と市政の運営について伺う。

- ① 今後の事務事業の遂行への影響について
- ② 市税の減少要素について

(2) 第六次総合振興計画の改定における課題について伺う。

- ① 市民の価値観が大きく変わると考えられるが、その対応について
- ② 改定作業の進め方について

2. 防災対策について

(1) 昨年の台風19号の教訓を生かした取組について

- ① 江川の調節池工事の進捗状況
- ② 危険箇所の事前点検
- ③ 台風シーズンを前にして水害時の消毒等について事前の広報活動

(2) 避難所開設時の課題について

- ① 避難所での新型コロナウイルス対策
- ② 避難所開設時の周知方法の改善について検討しているか。

2番 星野 充生 (複合式)

1. 駅東口周辺について

- (1) 駅前通り、中山道交差点の拡幅に際しての、街路灯の移設について詳細を。
- (2) 同様に電柱の移設について。また、無電柱化の可能性について市の見解を問う。
- (3) 中山道の整備に伴う(1)(2)同様の街路灯の扱い、無電柱化における市の見解を問う。
- (4) 下水道整備について
 - ① 一番街整備のための予算は計上されたが、進捗状況及び今後の課題について市の見解を問う。

2. 今後の学校教育の在り方

- (1) コロナに伴う臨時休校を機に「オンライン授業」に対する注目が高まった。一方今回のコロナ問題で、ICT環境の自治体間及び家庭間による格差が垣間見えた。教育の機会均等を保障する上で、「オンライン授業」については効果やその弊害も含めた議論が必要だが、ICT環境整備は進めることになる。
 - ① 今後のICT環境整備を進めるにあたっての教育的課題について市の見解を問う。
- (2) 教室の「3密」状態を解消するための対策
 - ① 現在のクラス編成で密集状況となるのか市の見解を問う。

3. 「平和を考える10日間」事業と平和祈念館

- (1) 「平和へのメッセージ」は実行委員会も開かれない状況下、従来どおりとはいかない可能性が高い。参加団体の準備期間も考えると実施か否かを決定するまでの時間的猶予はあまりない。
 - ① 実施か否かの決定はいつ頃になるのか。
 - ② 実施の場合の留意点、中止の場合の代替案はあるのか。
- (2) 祈念館の開館は当初の予定どおりとなるのか。他の公共施設と同様の扱いとなり、他の公共施設が使えない間は閉館のままなのか。

9番 にいつま 亮 (複合式)

1. いじめ・不登校の対策について

(1) いじめ・不登校の現況について

- ① いじめの発生件数と種類について伺う。(令和元年度内で把握している件数)
- ② 不登校の件数と種類について伺う。(令和元年度内で把握している件数)

(2) いじめ・不登校の対応について

- ① コロナでの休校期間中のいじめ問題の教育委員会及び学校の取組について伺う。(未解決のものを含む)
- ② コロナでの休校期間中の不登校児の対策について、教育委員会及び学校の取組について伺う。(WEBでの相談を含め、そういった事例があったか)

(3) 相談体制について

- ① 今回のコロナの影響で、さわやか相談員が出勤できなかったケースはあったか伺う。
- ② WEBやLINEを活用した相談ツールについて市の見解を伺う。(WEB相談・LINEでの相談など)
- ③ 法律を学ぶ、相談ができる場について市の見解を伺う。

13番 浦田 充 (複合式)

1. 避難行動要支援者の個別計画作成について

コロナウイルスでの状況を見れば明らかだが、いざというときに、十分な計画がなければ弱い立場にある人は、取り残されてしまう。災害はいつ起こるか分からない。今年度予算化されているとのことだが、速やかな作成が必要である。そこで作成の進捗状況など詳細を伺う。

(1) 避難行動要支援者の把握について伺う。

- ① 現在の要支援者の人数とその過去5年の推移を資料で説明願いたい。
- ② 要支援者の対象者の把握方法を伺う。例えば、障害者や高齢者に積極的に広報しているのか。また、対象でありながら漏れてしまっている人はいないのか。

(2) 個別計画作成の状況を伺う。(資料配付)

- ① 作成の手順、策定メンバー、スケジュールを伺う。完了目標はいつか。
- ② 現在どの段階なのか。
- ③ 主要な項目は何か。

2. 桶川駅西口マイン連絡橋のバリアフリー化について

(1) マイン連絡橋へのスロープ設置について

- ① 前々議会の一般質問への答弁で「市は借用しているところもありますので、(協議の機会の)あるときごとに、そういったスロープ化の意見がより増してきているというようなことで、実現に近づくよう市としても積極的な対応を心がけていきたい」とのことだったが、何か行動は起こしたのか。
- ② 消極的に見えるが、設置に向け、市として何か取り組む意欲はあるのか。

3. 感染症拡大時の障害者への対応について

(1) 情報共有について

- ① 防災計画との連携や相談支援事業所などを通して障害者の困りごとの積極的な把握に取り組めないか伺う。

5番 北村 あやこ (複合式)

1. 病院について

(1) 桶川に本当に病院は必要ないのか。

- ① 今回の緊急事態や新しい感染症に対応する医療体制の構築と要の病院は必要でないのか、市長の認識を伺う。(1000字程度)

2. 飛行学校

(1) 適正な監理・監督のもと、適正な支払がされたか、一部をあげて質問

- ① 防火水槽設置工事における変更工事で、山留中止と関連する地中障害について、契約約款1条5項(書面主義)、同18条(条件変更等)は、どう遵守されたか。(800字程度)

3. 工事検査室について

(1) 現状の実態を

- ① 過去2年間、工事検査で、工事等検査結果指示事項通知書(様式6号)、工事等検査結果指示事項完了報告書(様式11号)が出された事例と、これらの工事の評点を資料にて提出願いたい。(400字程度)

(2) 独立した組織として強化を

- ① 担当課により、知識や対応がまちまちで、公金の支出である意識が低い。トラブルの対応や相談も含め、検査相談機関として組織化を求める。(400字程度)

4. 設計変更ガイドライン

(1) どのように徹底されているか。

- ① 桶川市設計変更ガイドラインの庁内の周知はどのようになっているか。文書を提出いただき、実施体制を伺う。(400字程度)
- ② 埼玉県設計変更ガイドライン1.4設計変更の対象事項や設計変更に関する留意事項(発注者・受注者)はどのように徹底されているか。(800字程度)

10番 新島 光明 (複合式)

1. 桶川西分署の移転に向けた市の取組について

2月の埼玉県央広域事務組合議会にて、桶川西分署の移転については「令和4年度からの『第6次消防力等整備計画』に位置づける」との答弁がされました。なお、場所の選定に関しては、「地域に精通した桶川市と協議の上で」とのことです。そこで伺います。

- (1) 埼玉県央広域事務組合議会での私への回答として「第6次消防力等整備計画に位置づける」、「場所選定は桶川市と協議の上」との回答でしたが、これら以外の決定事項がありましたらその内容について伺います。
- (2) 「場所は桶川市と協議の上」とのことですが、桶川市としてどのような過程を経て決定するのか。また、それはいつごろを目途としているか伺います。
- (3) 新たな場所が日出谷地区又は川田谷地区であったにしても、県道が浸水により通行止めとなった場合は、市民の安心安全が脅かされます。県道の浸水対策に対する市のお考え及び対策を伺います。

2. 歩行障がい等のある独居高齢者(日中独居及び夫婦世帯含む)や障がい者等の交通弱者の移動手段の確保について

市内循環バスは、これら交通弱者の利用を期待して運行され、今年7月より見直しに向けた試験運行が行われます。これまでも歩行に障がいがある方からは、バス停までの距離が遠い、目的地である特に医療機関近くにバス停がないことから利用したくても利用しづらいとの声がありますが、これらがどう改善されるのかが問われています。そういう方からは、デマンド交通を導入できないかとの声が多数あります。そこで伺います。

- (1) これら高齢者等の移動手段の現状として循環バスをどう評価されるか。ほかにどのような交通手段があるのか伺います。
- (2) 可能な限り住み慣れた地域で在宅生活をとの施策を進める本市にとって、これら高齢者等の移動手段の確保のあり方について十分とお考えなのか伺います。
- (3) 近年、これら高齢者等の交通手段確保のために、デマンド交通を導入する自治体が増えてきていますが、本市のデマンド交通制度導入に対する考えを伺います。

3. 3月末をもって閉館した中山道ふれあい館のその後について

- (1) 中山道ふれあい館の評価及びこれまでの利用状況について（資料）
- (2) 閉館後の機能移転先の検討状況について
- (3) 新たな移転先の決定に際しては、高齢者だけではなく、子ども達等を含めた全世代型のふれあい館にしていくことを提案しますが、市のお考えを伺います。その際には、例えばですが、同所にて子ども食堂を視野に入れることも併せて伺います。
- (4) この場合、老人福祉センターや子ども食堂が東側にあることから、中山道周辺に限定することなく、西側地域の空き家等の活用についての見解を伺います。

4. 道路の維持管理（とりわけ歩道の除草）について

特長的な2つの道路を対比して、桶川市の道路管理の現状について伺うものです。それは「西側大通り線」と「日出谷中央通り線」です。今日梅雨時期に向かう中で歩道の雑草も成長が早く、大きく伸びた結果、この大通りに出る交差点では、草が視界を遮り非常に危険な状態によくなります。また、歩道に草が垂れ下がり通行を邪魔したり、雨の日などはズボン等の裾を濡らす結果となっています。これらは、毎年の日出谷中央通り線の風物詩です。

一方、西側大通り線は、管理が行き届いて、あるときに、草も数センチ程度にもかかわらず、シルバーの皆さんが腰をかがめて草を取っていました。一方は、交通事故が心配されるまで伸び放題です。そこで伺います。

- (1) 市の道路（歩道を含む）の除草管理基準はどのようになっているのか。管理の仕方（管理の委託の違い・年間の除草回数等）を伺います。
- (2) 都市計画道路として、歩道のある道路も多くなっていますが、歩道に植栽がある道路とない道路があります。ない道路では、防草シートが貼られ一定の効果が見られるところもありますが、もしも植込みのある歩道を適切に管理ができないのであるならば、植栽を抜いて防草シートを貼る、簡易舗装を行うことを提案するものです。市の見解を伺います。